

筑豊小児科医会会報

Vol.216 2025.1



Contents

- ◇ 今月のトピックス（小児科 部長 岡松由記・小児外科 部長 竜田恭介）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2024年10月》
- ◇ 着任のご挨拶（福智町立方城診療所 小児科 藤井 績先生）
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス (小児科 部長 岡松由記・小児外科 部長 竜田恭介)

小児科 部長 岡松由記

皆様のおかげにより無事 2025 年を迎えますことを心より感謝申し上げます。

2024 年の漢字は「金」でしたね、オリンピックイヤーにはよく選ばれることが多いそうです。私にとっては、漢字一文字ではありませんが、「働き方改革」に関連する話題が多い一年でした。新しい規定に沿う取り組みにより明らかに就労時間は減少しました。同時に提供する医療の質を向上、あるいは維持するために医師を含め小児医療に従事するスタッフすべての能力向上が課題と考えております。増えている web セミナーの活用も良いですが、一昨年から、小児科学会の認定単位申請をやめた筑豊小児科医会勉強会は、いかようにもやりたいことができるようになりました。ただの座学とならないために、今までにない企画を試みたいで
す。皆様にまたご協力をお願いに伺います。どうぞよろしくお願いいたします。



小児外科 部長 竜田恭介

初春の折、皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。

飯塚病院に赴任して 3 年が経過し、筑豊に愛着を持つようになったと感じています。週末にテレビで筑豊が取り上げられるとテンションがあがります。住んでみて実感しましたが、飯塚市は福岡市、北九州市、久留米市に微妙に近い距離にあり、それぞれの都市には小児外科のある大きな病院があります。このような地理的環境にありますが、筑豊地方の患者さんの小児医療は極力地元で完結したいと考えております。そのために微力ではあるものの、これからも努力していきたいと思ひます。これからも飯塚病院の小児外科をよろしくお願いいたします。

研修医のご紹介

● 初期研修医 1 年目 うしほだいすけ 牛場 大祐

初臨床研修医の牛場大祐と申します。

小児科研修では、子どもたち一人一人に優しく寄り添い、ご家族の気持ちにも配慮しながら診療にあたります。知識や技術を深めるため、日々の経験を大切に、真摯な気持ちで臨床にあたります。

至らない点もあるかと思いますが、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。

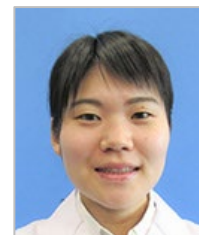


● 初期研修医 1 年目 まつだかこ 松田 佳子

12 月 9 日より小児科で研修させていただきます、松田佳子です。

患者さんやご家族に寄り添いながら、小児科ならではの知識や技術を学び、成長していきたいと思っています。

不慣れな点も多いかと思いますが、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。



小児科関連勉強会のご案内

■ 第 364 回 筑豊小児科医会勉強会

- 日 時：2025 年 2 月 6 日（木）19:00～20:00
- 形 式：ハイブリッド開催（Zoom によるオンライン配信）
- 会 場：飯塚病院 北棟 4 階 多目的ホール

起立性調節障害と漢方

飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科 医長 川野綾子

■ 第 365 回 筑豊小児科医会勉強会

- 日 程：2025 年 3 月 13 日（木）

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2024 年 10 月》

- 入院患者数 138人 ●外来患者数 1,035人 ●救命救急センター受診者数 69人
- 新生児センター入院患者数 18人 ●分娩件数 29件 ●手術件数 6件
- 主要疾患数（退院患者数：113人）

肺炎・気管支炎	19	低出生体重児	10	喘息	8
急性胃腸炎	8	痙攣及びてんかん	7	急性上気道感染症	4
新生児呼吸障害・心血管障害	4	高ビリルビン血症及び黄疸	1	その他	52

●紹介件数（五十音順）

小児科：160 件	
弥永内科小児科医院	12
飯塚市立病院	9
栗原小児科内科クリニック	7
まつなり医院	
宮嶋医院	
有松病院	6
いいづかこども診療所	
穎田病院	
吉國医院	

小児外科：13 件	
有松病院	2
あざかみこどもクリニック	1
後野医院	
いいづかこども診療所	
越智外科胃腸科医院	
社会保険田川病院	
田中医院	
泌尿器科 C. U. クリニック	
福智町役場 健康子育て支援課 他 3 件	

着任のご挨拶（福智町立方城診療所 小児科 藤井 績^{ふじい いさお}先生）

はじめまして。昨年 10 月 1 日付で田川郡福智町の方城診療所に着任しました藤井 績と申します。生まれは旧嘉穂郡稲築町です。平成 3 年の熊本大学卒で、先任の小川先生の一学年後輩になります。これまで熊本県内の市中病院に勤務していました。紹介を受ける側から紹介をお願いする立場となり、心機一転、新鮮な日々を送っております。こじらせない医療に努めて参りたいと思います。先生方に於かれましてはご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



AI-CAP 通信

明けましておめでとうございます。長い年末でありましたが皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

マイコプラズマ感染、インフルエンザ感染、しぶとく新型コロナウイルス感染と小児科を賑わせる感染症も続き、当方も家族総出で罹患し感染症と供に過ごすことを余儀なくされました。感染症と供に生活するコロナ自粛前に当たり前であった状況に戻ったと考えるべきでしょうが、我が子が咳や熱で苦しむ様子は親としては辛いものがあります。集団免疫が形成されるまでの辛抱とは理解しつつも、皆さまのご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

虐待予防活動の新年といたしましては、1月31日金曜日の午後に、飯塚市と飯塚病院小児虐待防止委員会の共催で行う勉強会にて、40年にわたって虐待を研究なさってきた山梨県立大学大学院 人間福祉学研究科 特任教授の西澤哲先生をお迎えし、講演を頂く予定となっております。虐待によるトラウマに関してのご講演です。広く観覧ご希望の方を募っておりますので、皆さまのご参加をよろしく申し上げます。

小児虐待防止委員会 委員長 齊木 玲央

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

2025年は巳年ですが、へびは年に数回脱皮を繰り返し、生まれ変わる様子から生命力の象徴とされ、巳年は新しいことが始まる年、実を結ぶ年といわれるそうです。子育て中のへびが子どもに餌を与えたり、狩りの仕方を教えたりすることはありませんが、寒い夜には卵から孵った子どもたちをとぐろを巻いて温めてあげるくらいのことはしているそうです。へびに比べたら人間の親は偉いですね。

雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けず、仕事や近所付き合いをし、
東の学校や保育園に問題あれば、行ってあやまり、
西に難儀な舅や姑あれば、行って相手してやり、
南に泣きそうな同僚あれば、行って怖がらなくてもいいと言い
北にめんどくさい上司あれば、つまらないからやめろと言い
ワンオペの時は涙を流し、スーパーで子どもが騒げばオロオロ歩くー。

こんな大変なマルチタスクを心穏やかに遂行するのは至難の業です。欲は無く決して怒らず、いつも静かに笑い、皆にデクノボーと呼ばれ、誉められもせず苦にもされない、そういう者になれば良いですが、難しいでしょう。

子育てをしていると多方面から注意や指導を受けます。それらに応えよう、親としてしっかりしようとすれば無理が重なり、ストレスが溜まります。そうして、生じた無理を子どもの責任に転嫁してしまうのが大人の常（僕もそうでした）、それでは子どもがかわいそうです。そうならないためには大人の無理を減らさなければなりません。そのために必要なのは子どもの無理を減らすこと、できないことを許すことではないでしょうか。試しに、大人からすればダメな子どもの行動を意識的に許す練習をしてみませんか。もちろん、他害、物損、自傷などを含めて全てを許すわけではありませんが、どこまでなら許せるか、自分の器を測ってみてください。バンクシーは言いました。“許可をもらうより許してもらう方が常に簡単だ”。子どもたちの無限の可能性を摘んでしまわないように子どもたちには、許してもらうための教養と愛嬌を教えていきたいものです。公共の場で走り回る、銭湯で泳ぐくらい、いいんですよ。だめ？

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

